

我以外、皆我が師

竹 澤 美 男

北里OB教師の会会長

自己紹介

工業高校（工業化学科）から建学間もない北里大学衛生学部化学科に4回生として入学させていただきました。教職に就くための進学です。4年間を白金キャンパスで学ぶことになります。従って、相模原キャンパスでの思い出は、サークル活動のみです。

卒業と同時に金属会社に就職しましたが、2年間の国内留学を命じられました。7年間の勤務の後、小学校での9年間を経て、29年間の中学校での勤務が続いていることとなります。マンモス校勤務の連続でしたが、今は、ホテルが生息し、熊も出没する地域、全校生徒8人の（生徒数の倍の教職員がいます。）小規模中学校で、ストレスも少なく、二回目の冬を迎えようとしています。

北里大進学を勧めて下さったのも、直に教職に就くことでなく民間会社での生活経験の意義を論じて下さったのも複数の教師でしたから、今更ながら教師の影響力の大きさを再確認するところです。

困難を抱える家庭と教育現場

非正社員の割合が、1987年の厚生労働省の調査開始以来、初めて4割に達しました。

「中年フリーター」が激増し、働き盛りの世代で、非正規労働が増大しています。

消費は落ち込み、景気の低迷が続きます。経済的な理由から結婚をしない、さらに少子化も進むこととなります。

生活保護を受けざるを得ない人も増えています。

教員の間で「子どもの中に社会を観る。」という言葉が交わされて久しくなります。今や、子どもたちの6人に1人が貧困の中に置かれています。身近に健康的な労働のモデルを観ることなく過ごす子は、貧困のスパイラルの中で生活する可能性をさらに高めるのではないのでしょうか。

文科省の14年度問題行動調査によると、小学校での暴力行為の発生件数が5.2%増と過

去最多、不登校の児童生徒数は、小学校7.0%増、中学校1.7%増、合計12万人を超えています。暴力行為では、中学では増減を繰り返す中で、小学校では5年間続けて増加しています。小学校の加害児童数は、2006年度比で6年生が1.9倍、低学年になるほど増加率が高まり、1年生では5.0倍に増えています。具体的には、「1年生が指導に腹を立て、教師を何度も蹴った」などの事案が報告されているとのこと。

反社会的問題のみならず、非社会的な問題である不登校は、一時減少したかに観えたが、小中では2年連続で増加しています。

教育現場の苦労は増えることがあっても、減ることはないようです。何より子育て世代の苦労と戸惑いを感じざるを得ません。

教育への施策と公的支出

35人学級の実施計画の中断、凍結は、教育現場を暗澹とさせました。文科省の分析は異なるようですが、財務省はクラス・スケールの縮小が、学力向上にも、いじめなど問題行動の解決にも、多忙化の軽減にも効果なしとの結論を出しました。

今年8月この国の教育への施策、方向を端的に読み取ることのできる資料を、文科省が出しました。「平成28年度 国立大学の入学定員について（予定）」です。この中で、国立大学（大学、大学院）の定員を、総計で224減じていますが、分野別に見ると、教育分野を983減、文系を129減じ中、理系は527の増にしているところから、教育の軽視と理系偏重が明瞭になっています。

今年11月、経済協力開発機構（OECD）の国内総生産（GDP）に占める学校など教育機関への公的支出の割合など（2012年）を公表しました。その中で、日本は3.5%で比較可能な32カ国中最下位です。また、国公立小学校の学級児童数は加盟国中3番目、国公立中学校の学級生徒数は加盟国中2番目に多いことも分かります。

教員給与はOECD平均が増化傾向の中で13年の間に6%減じたと指摘しています。

アンドレアス・シュライヒャー OECD教育・スキル局長は「給与、勤務条件を見ると、日本の場合は悪化しており、問題があるように思われる。優秀な人材を教職に引き付けることが重要だ」と述べています。日本の内政に関わるコメントですから、これでも控えめな表現ではないでしょうか。

教育の現場と社会

教育の現場にいて、膨大な文書作成や中学での部活指導、途切れることのない複雑さを増す生活指導、進学・進路指導、臨時教員の増加とその待遇の劣悪さの広がり、多忙化が進行していることを肌で感じ取ることができます。

このような過酷な労働条件の中で奮闘する教師達の姿に関心ばかりしてられません。優秀だと言われる日本の教師とは言え、生身の人間です。メンタル面での療養休暇に入る

教師の増加、新採教員の辞職、不本意な早期退職も増えています。

雇用の非正規化などに象徴される社会全体のブラック企業化の波が押し寄せている時、教育現場だけがその外に居られるわけではありません。

文科省の14年度問題行動調査にある自死児童生徒数230人の事実を見ると、教育現場からの悲鳴が聞こえてくるような気がします。この調査では、自死児童生徒のうち「いじめ問題」を抱えていたのは5人とされています。しかも、児童生徒数230人の自死が年間3万人を超える世界で突出した自死者を出す程の空しい世の中と全く無関係の世界の出来事だと言い切れるのでしょうか。

「子どもの中に社会を観る。」ことが、ここでも必要だと考えます。ささやかであっても共に夢を語り、日常的な確信を持って生きる大人のモデルがないところでは、子ども達も生きる力を獲得しづらいのだと思います。

若者達にあっては、結婚して家を持ち、子どもを育てるという今まで当たり前であった生活が、経済的な理由で閉ざされるとすれば、空しさはさらに広がっていきます。

子ども達の中に立つ教師の力量を高める努力を惜しむものではありませんが、地域社会にあって、地域社会と共に育ち、高まりあっていくという意味で、現在進行形の格差社会、働く貧困層の拡大は、必然的に教育の困難と荒廃をもたらすのではないのでしょうか。

希望と困難の相互関係

よくも、教育現場の悲観的な現実を書き連ねてきました。

この一文を読んでくださっている、北里に学び、教師を目指す後輩の皆さんがいらしたなら、私にとって、法外の幸いです。もとより、皆さんの意欲を削ぐことは、望むところではありませんし、多忙な学生生活の中で教職課程の単位の取得を目指しておられる皆さんの並々ならぬ決意も理解できるつもりです。

教育の現場は、猫の目のように変わる行政のおもわくに翻弄されてきました。

子ども達がいち早く持ち込んでくる社会の歪に、日々さらされ、新たな問題行動への対応に眠れぬ夜を過ごすことも日常茶飯事です。

指導をめぐるトラブルで、子どもと心が通わず、子どもと同僚の和やかな会話の脇に、空回りしている自分があることもあります。

それでも、子ども達の顔を思い浮かべながら、教材を手にし、授業のイメージを描き、今日も教室に向かわせるものは何なのでしょう。

一人の教え子の文章の一部ご紹介したいと思います。

市民と子ども達、教師でつくる「子どもたちの明日を拓く相模原の集い」に提出されたものです。

「広い敷地を持つ我が校は、緑豊かな学校で、僕たちは、毎日、勉強やスポーツに励んでいます。

ここまでは、ごく普通の生徒会長の挨拶です。しかし、僕が普通の学生だったら、きっと会長にはなれなかったと思います。そのいきさつや、その時感じていたことなどを、これから、話したいと思います。

花々に囲まれた美しい学校だということは、前にも述べた通りです。そして、花は、毎年美しく咲くはずでした。しかし、去年の僕、いや俺はそんな物は目に入りませんでした。

はずむような、はずかしいような、ちょっぴり不安な、それでいて少し大人になったような、希望と期待の中で、入学したはずでした。何が、いつ、どのように変わったのか……。今、考えてもよく分からないのです。

山に登るのは、一步一步本当に大変です。でも、転がり落ちるのは、すごく早くて楽です。俺は、楽な方を選びました。ボンタンはいて、髪の毛を染めて……。外見からは、だれが見ても、今風のヤンキーそのものでした。(中略)

そんな俺は、まちがえなく、不良という大きなレッテルを、先生や世間の大人達に、張ってもらいました。そう、張られたと思っていました。しかし、張ったのは、他の人ではなく、自分自身だったと気づくまでに、一年半かかりました。

しかし、後悔や、馬鹿なことをしたとは、今も思っていないのです。誰もが、少しでもいい高校に入って、いい大学に入って、いい会社に就職して、などと考えているから、自分の思っていることや考えていることを言えないのです。だから、俺だったら、自分達の代わりに、何かをしてくれたり、言ってくれたりすると思ったのでしょうか。ある時は、先生と喧嘩もしてくれるとでも思ったのかもしれません。間違えなく、全校生徒900名中、600数十票取って、会長になったのです。(中略)

今は、集会の度に、偉そうに、一段高い所から挨拶をしたり、生徒会活動について話したりしています。しかし、時には先生にストップされたり、生徒達からはつつかれて……。んー！ 生徒会長とは、学校の中の中間管理職なのだと考えてしまう。時々、息が詰まりそうになります。

しかし、そんな時、キャンプに連れて行ってくれたり、話をしてくれる先生がいます。先生は、僕のことを、実験動物みたいに言います。

「君の考えは、おもしろいねえ」とか

「物事は、一方から見ていると、大切なことを見落とすことがあるよ！」などと言うのです。

「自然の中では、人間なんかちっぽけなものだ」とも言います。

いつも、僕に疑問を投げかけてくるのです。反応を観ているのです。そしてまた、「おもしろい」と言うのです。

入学してから今日まで、僕は、一番多くの先生達と、関わり、話をしてきたと思います。生徒一人一人に個性があるように、先生一人一人にも個性があることが分かりました。

でも、教師である以上、人に物事を教える師である限り、サラリーマン教師には、なつて欲しくないと思っています。何故かと言えば、この感性の一番強い時期に、一番強く影

響を受ける大人の人だからです。

僕達は、大人の人に、色々なことを教えてもらいます。勉強、道徳は勿論、信頼から裏切りまで……。なぜ、大人は、本音と立前で、ものを言うことができるのだろう。なぜ、大人は、立前という言葉で、逃げをうつのだろう。少なくとも、僕達は、いつも本音でぶつかってきた。

そうしたら、自分が嫌いになるほど、追い込まれた。きっと、大人の方は、追い込まれたくないから、自分を嫌いになりたくないから、立前でものを言うのだと思う。

そして、最近、立前でものを言う自分に気がついた。そうしたら、「君は、ずいぶん落ち着いてきたねえ。」と言われるようになった。何かが違うような気がします。(中略)

ただ、レールの上だけを走る、ロボットのような人間だけにはなりたくないと思っているのに、一生懸命、色々なものを見たくて、知りたくて、脱線しても、またレールの上にいる自分に気がついて、情けなくなります。でも、その上が一番安全だと言うのは、最近少しづつ分かってきたような気がします。そのレールは、大勢の大人の人達に守られているからです。もし僕達が、そのレールの上を走らなければならないのなら、今のような狭いレールではなく、もっと幅の広い物にして欲しかったと思います。(中略)

そうすれば、なかなか脱線しないのです。脱線できないのです。だから、これからの時代をつくっていく僕達が、もっともっと考えて、幅の広い、豊かな、レールをつくり上げていかなければいけないと思っています。ただ、レールの上を走ってきた人間には、分からないことでしょう。でも、脱線した僕達だから、分かることもあるのです。(中略)

世の中が、目まぐるしく変わり、色々な時と場所で、世代交代されています。

そう言えば、我が家でも、つい最近まで親の言うことを率直に聞いていた6年生の子が、時々キラッとした目をします。2年前、鏡の中で見た目に似ているような気がします。

大人の方が言う、反抗期にも、世代交代があるのを、初めて知りました。

そして、あと、8か月で、僕は卒業します。色々な思い出を、心の中に押し込めて……。」

様々な困難を抱えながらも、今日も、教育の現場にあって、子ども達と関わり続けるエネルギーの源は何なのでしょう。

それは、どのような状況に置かれても、強かに成長しようとする子ども達に寄り添い、共感し、明日を切り拓く意気込みの共有なのではないかと思えます。

「学校は、理想を先取りする場だ。」と言った、教師がいました。

年令こそ違いますが、同じ時代を生きることは、その時代の矛盾に、それ相応に立ち向かい、理想を掲げエールを交換し合っているのかも知れません。

希望があり、当面の目的があればこそ、その実現の過程に困難が立ちはだかるのだと思います。

困難は、失望を招くものではなく、克服の対象として現れるのだと思うのです。「そんなのは理想だよ。実を取った方がいいよ。長いものには、捲かれるさ。」と、虚無的になるとき、目の前の困難はスッと消えます。一時の安ど感を得ることもできます。このようなことを、この教え子の文を読み返しながらか、再確認することがあります。フランスの詩人、ルイ・アラゴンの言葉に、「教育とは、共に夢を語ること、学ぶとは誠を心に刻むこと」とありました。教師を変えるような、子どもに会うたびに、「我以外、皆我が師」の思いを新たにします。

北里に学び教職を目指す学生の方々に

学生生活を継続すること自体、多くの課題と苦勞があることと思います。その中で、教職課程を受講し、果敢に教員への道を切り拓こうと学んでいる後輩の皆さんの存在を頼もしく思います。

ご承知のように、現在の教育現場は、多くの困難もありますが、最もやりがいのある職場の一つだと確信しています。

ある同僚が「教員は、あらゆる能力を活かすことができる職種だ。」と言いました。

多くの皆さんは、理科の教師になられると思います。勿論、北里出身の教師がその特性を活かし、多くの優れた自前教材を開発していることを知っています。

それにとどまらず、各々教師達は、特技のスポーツ、音楽、美術、シナリオ書き、マンガ、おもちゃ作り、折り紙にいたるまで、あらゆる能力が活かされる職場で実践を重ねていると言えます。

文科系出身の教師の多い中で、生活指導上でも、科学の眼を持つ冷静な教師の存在が、今日的にも、不可欠だと思うことがあります。

皆さんには、是非とも、初心を貫いていただき、近い将来、北里教師の会の仲間になっていただきたいと思います。